

酷暑対策空調機 AP150A **2026年6月発売!**

クールストライカー™

最大風量

150

m³/min



2026年6月発売!

2026年4月受注開始

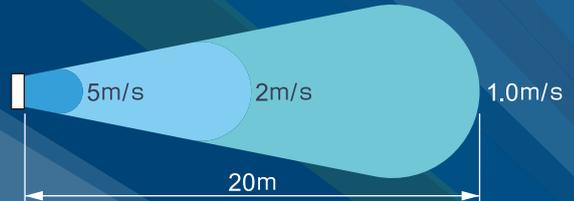
酷暑対策空調機が新登場! 熱中症対策に最適な大風量モデル!

特長

- ・専用送風機により20m先で風速 1m/s以上の大風量!
最大風量150m³/min
- ・冬季は暖房機としての使用も可能 (BCP対策としても)



ダクトノズル仕様
(オプション)



2025年6月1日から、熱中症対策が法的義務化となりました。

※WBGT(暑さ指数)とは?
気温・湿度・日差しを総合した「熱中症の危険度」を示す指標です。数値が高いほど危険な状態。

対策が
必須に
なる条件

WBGT28℃以上または気温31度以上

+

連続1時間以上または、1日4時間を超える作業が見込まれる



熱中症対策が必須に!

※外觀デザイン、能力値、日程等予告なく変更する可能性があります。

酷暑対策空調機 AP150A **2026年6月発売!**

クールストライカー™



酷暑による熱中症対策、BCP対策に!



仕様表

型 式			AP150A
定格冷房能力	kW		25
定格暖房能力	kW		28
処理風量	m ³ /min		150 (風量三段階切替可能)
室外機設置温度条件	冷房	℃	DB-15~50
	暖房	℃	DB-25~21
外形寸法 (高さ×幅×奥行)	室内機	mm	740×1610×560
	室外機	mm	1430×940×320
冷媒			R32
電源			三相200±10%, 50/60
付属品			リモコン (有線)

フロン排出抑制法について

- 改正フロン排出抑制法が2020年4月1日施行されました。冷媒にフロンガスを使用している当社製品は、フロン排出抑制法の「第一種特定製品」に指定されています。
- 管理者(ユーザー様)は製品のご使用時に以下の取り組みが義務付けられています。
 1. 点検: 機器の点検
冷凍用圧縮機出力が7.5kW未満は簡易点検が必要、7.5kW以上は十分な知識を有する者が定期点検を実施
 2. 記録: 点検などの記録を保存
機器点検の記録は、設置時から廃棄後も3年間保存
 3. 報告: フロン類算定と1,000t-CO₂/年以上漏えいの場合は国への報告

- 製品の廃棄時フロン類回収向上のために
 - ・フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
 - ・製品を廃棄・整備する場合には、フロン類の回収が必要です。
 - ・冷媒が未回収の機器を引き渡してはいけません。
 - ・機器廃棄時の書類を廃棄後3年間保存(フロン回収依頼書、引取証明書)
- 違反した場合、1年以下の懲役又は50万円以下の罰金に処せられます。ご不明な点は、当社までお問い合わせください。

●製品使用冷媒とGWP値

冷媒名	地球温暖化係数 (GWP)
	(100年値)
R32	675

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

オリオン機械は
持続可能な開発目標
(SDGs)を
支援しています



※本製品の冷媒回路保証期間は、お買い上げ後2年間(ただし、稼働時間10,000時間まで)です。

ご用命は下記へ



オリオン機械株式会社

<https://www.orionkikai.co.jp>



株式会社 **フ タ キ**

このカタログ内容は2026年1月現在のものです。

- 製品写真は印刷物ですので、実際の色とは若干異なります。
- このカタログ内容の機構および仕様等は、予告なく変更することがあります。ご了承ください。